

## 第42回： 水処理とゼロエミッション

開催日： 2001年11月14日（水）～15日（木） / 会場： 品川区総合区民会館  
「きゅりあん」東京都

開催趣旨： 従来水処理では、如何に処理水をきれいにするかが主目的で、発生する廃棄物などは二次的な問題とされる傾向がありました。一方、環境への排出を可能な限りゼロに近くする、いわゆる「ゼロエミッション」の考え方がかなり普及してきましたが、必ずしも環境への排出全体に対する影響を検討しているわけではないようです。

そこで、水処理のゼロエミッション化の現状とともに、さらに環境全体への排出の最小化 — ミニマムエミッション — の現状と展望についてのセミナーを企画しました。  
講演タイトル（講師／所属（当時））：

- 水処理とゼロエミッションの概要（藤江幸一／豊橋技術科学大学エコロジー工学系）
- 地域のゼロエミッションモデル — 既存の公園を舞台とした、水循環の再生システムの提言 —（吉村元男／鳥取環境大学環境デザイン学科）
- 食料の生産・消費過程におけるゼロエミッション社会の構築は可能か？（川島博之／東京大学大学院農学生命科学研究科）
- 水処理施設の LCA（靄巻峰夫／八千代エンジニアリング株式会社）
- 水環境影響評価における LCA（松野泰也／東京大学大学院工学系研究科）
- 水域におけるゼロエミッション — 環閉鎖性水域におけるゼロエミッション化のための物質循環管理システム等の現状と課題 —（石橋康弘／長崎大学環境保全センター）
- 上水汚泥の最少化、資源化、有効利用（森川純臣／横浜市水道局小雀浄水場）
- 下水汚泥の資源化、有効利用 — 汚泥焼却灰を利用したコンクリート製品の採用 —（古市哲也／東京都下水道局計画調整部）
- 工場でのゼロエミッションⅠ：ビール工場での事例（小原聡／アサヒビール株式会社）
- 工場でのゼロエミッションⅡ：半導体工場におけるクローズドシステム— 事例と課題 —（矢ヶ部康／日本テキサス・インスツルメンツ株式会社）